

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症パンデミックにおける病床確保料の有効性の検証

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象期間：2020年4月1日～2022年3月31日迄

研究の対象：上記期間に昭和大学横浜市北部病院に新型コロナウイルス感染症の診断で入院した方

2. 研究目的・方法

研究の背景：

新型コロナウイルスの流行下において、新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れるための入院ベッドを確保することが課題として挙げられました。そこで日本政府は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業と呼ばれる政策を行い、新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れで使うことができなくなった入院ベッド、あるいは、新型コロナウイルス感染症患者さん用のベッドとして確保していたが実際には入院で埋まらなかったベッドに対して、1日単位数万円～数十万円の交付金を支払う取り組みを行いました。これは、新型コロナウイルス感染症患者さんの受け入れに対する病院側の準備をすすめる一助となり、コロナ禍における病院経営の大きな支援になったことは事実です。しかしその一方で、この政策は過剰な助成だったのではないかという否定的な意見も出されています。この仕組みについては、実際に新型コロナウイルス感染症の患者さんを受け入れ、治療にあっていた病院の収益や、感染症患者さんの対応に要した各種費用や支出などと比較した研究報告はまだなく、どのように有効で何が過剰だったのかは明らかにされていません。

目的：

本研究では、2020年から2022年にかけて当院に支払われた病床確保料を算出し、その上で、新型コロナウイルス感染症流行以前の病院の収益との比較や、様々な支出実態との比較を用いて、「病床確保料」の有効性について検証します。

研究の方法：

2020年4月1日～2022年3月31日迄に、当院に支払われた「病床確保料」を算出し、病床確保料を得ていたベッドと同病棟のベッドについて、新型コロナウイルス感染症流行前の同じ期間の医療に関連した収益を算出して比較する。さらに、個人防護具など新型コロナウイルス感染症の対応に必要な費用や、感染性廃棄物の廃棄料金も算出して病床確保料と比較し、その有効性について客観的に検討します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、入院病棟、転帰、入院時入院形態）、新型コロナウイルス PCR 検査結果、病床確保料、感染性廃棄物の廃棄料

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2023年11月31日までに下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 看護部

氏名：福岡 絵美

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1

電話番号：045 - 949-7000

研究責任者：福岡 絵美

（昭和大学大学院保健医療学研究科 看護分野）